

つれもて教えあい・学びあい 一高野口地区公民館寺子屋塾一

－橋本市－

1 橋本市高野口地区公民館

【活動日】 毎週土曜日（行事日以外）

【活動場所】 高野口地区公民館

【1回の参加児童数】 12～13名

2 高野口地区公民館寺子屋塾の特徴・工夫点

小学生ということもあって集中できる時間に限りがあり、2時間を半分に分け、休憩時間を取ったうえで、前半・後半の初めに集団学習（100マス計算、ナンプレ、詩の音読、英会話など）を取り入れている。また、学力のばらつきがあるため、できるだけペアワークやグループワーク等のアクティブ・ラーニング手法を取り入れ、「教えあい・学びあい」ができる体制を組んでいる。

3 取組の具体的な内容

(1) 土曜日の学習支援活動

① 活動の内容

児童の学習でのつまずきをサポートし、全ての教科・科目において自学自習で学習習慣を身に付けさせる。学校で学習している中で、理解が困難であった事項や家庭で学習する中でわかりにくかった宿題、自主学習の内容等について、個々に質問し、アドバイスを受けながら学習の定着を図る。



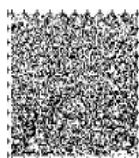
真剣なまなざし



質問コーナー

② 児童生徒、保護者、関係者、地域の方々などの感想

- ・ほぼ一対一で教えてくれるのでわかりやすく、楽しかった。（児童）
- ・英語の勉強が楽しかった。わからないことがよく分かった。（児童）
- ・不安いっぱいだったが、時計の説明で図を使って教えたならわかってくれてよかった。（関係者）
- ・いざ自分が教えるとなると難しかったが、子供たちが理解してくれると嬉しかった。（関係者）



(2) 「民話紙芝居」英語発表会に向けた講習会

① 活動の内容

この地方には昔から民話があり、その民話を英語に直して小学生に紙芝居で発表してもらいたいという思いから、英語発表会に向けた講習会を数回にわたり実施した。「鐘の樋池の由来と大蛇の伝説」という題名で「引きの池」に住んでいた大蛇のお話である。練習に練習を重ねた上で1月の「高野口インターナショナルフェスタ」で発表してもらい観客から万雷の拍手を受けた。



いい発音だね



多くの観客の前で緊張するな

② 児童生徒、保護者、関係者、地域の方々などの感想

- ・人の前で発表するのははずかしかったが、みんな喜んでくれてよかった。(児童)
- ・ふるさとの生活や文化を英語で表現してもらい再認識できた。(関係者)
- ・小学生がしっかりした英語で紙芝居を読むなんて本当にえらい。(地域住民)

4 事業を実施して

学校じゃないということでごえが出たのか、最初は私語をする子や勝手に席を立つ子もいたが、途中で集団学習を取り入れたことにより、落ち着いた学習環境が整った。さらに授業規律を守った中にも楽しい雰囲気でも学習活動ができる環境を作っていきたい。この地域には学習塾に通えない経済的に苦しい家庭、保護者にゆっくり勉強を見てもらえない共稼ぎ家庭、学校生活に馴染めず不登校気味の子供等が多く見受けられるため、学校、家庭以外でも学校の授業の補完的な役割として公民館を利用してもらいたい。「橋本の子供は橋本で育てる」地域全体で子供たちの学習を保障できたらいいと思う。その意味で、この「子どもの居場所づくり推進事業」も小学校の低学年や中学生にも適用範囲を拡大してもらいたい。

5 問い合わせ先

橋本市教育委員会 社会教育課

Tel : 0736-33-6112

Fax : 0736-33-2657

Mail : syougai@city.hashimoto.lg.jp

